



ニュースリリース  
本件のお問い合わせ先  
株式会社ベントレー・システムズ  
マーケティングマネージャ  
大山 早苗  
[sanae.oyama@bentley.com](mailto:sanae.oyama@bentley.com)  
Tel.03-5992-7747 (直), Tel.03-5992-7770 (代)  
Twitter でフォロー  
[@BentleyJapan](https://twitter.com/BentleyJapan)

## Bentley、クラウドサービスサブスクリプションプログラムにより 販売戦略の革新をさらに推進

*ProjectWise CONNECT Edition as a service* をはじめとする  
Bentley の幅広いサービスを含むプログラムを展開

ロンドン – *Year in Infrastructure 2015* カンファレンス – 2015 年 11 月 2 日 – インフラストラクチャ推進のための包括的なソフトウェアソリューションを提供する世界的リーダー企業 Bentley Systems, Incorporated は本日、コラボレーションサービスとアプリ、マネージドサービス、期間ライセンス管理、プロフェッショナルサービス、*Bentley* インスティテュート *LEARNservices*、および新登場の *CONNECT Edition* クラウドサービスを利用できる、クラウドベースの新しい包括的サブスクリプションプログラムを発表しました。この新しい [Bentley クラウドサービスサブスクリプション](#) プログラムでは、年間予算の枠組みの中で計画的に上記の一部またはすべてのサブスクリプションを契約できます。

*Bentley* クラウドサービスサブスクリプションプログラムは公平かつ柔軟に設計されています。

- 年間予算に合わせ、予測される使用状況に応じてサブスクリプションレベルを設定できます。
- 実際に使用されたサービスに対してのみ四半期ごとに課金され、サブスクリプションの残高から差し引かれます。
- サブスクリプションの残高に有効期限はないため、実際の使用分が予定を下

回る場合、残高は繰り越されます。つまり、使用しない期間中に残高が失効するリスクはありません。

Bentley Systems の CEO、Greg Bentley は、次のように述べています。「クラウドサービスを介して連携することは、ユーザーとそのプロジェクトや企業にとって極めて価値が高いので、お客様に最大限に活用していただけるよう、それを妨げる要素を排除したいと考えています。多くのクラウドサービスを利用する企業として、当社は従来のベンダーのビジネスモデルをどう改善するかという課題に取り組んできました。現在は連携のさまざまな利点を導入しているところですが、費用については可視性と説明責任を最大限に高め、予算に関する不安やリスクをなくそうとしています。これまでに実施してきた多くの販売戦略と同様、クラウドサービスサブスクリプションプログラムでも、可能な限りシンプルで公平なアプローチを提供します。

「現在お持ちの Bentley ソフトウェアライセンスの [SELECT](#) サブスクリプション、ならびに大規模企業のお客様に年間定額料金で提供している [大規模企業向けライセンスのサブスクリプション](#) は、そのまま継続してご利用いただけますが、*ProjectWise* の Passport と Visa、コラボレーションのための [CONNECT Edition](#) クラウドサービス、およびそれ以外の *CONNECT Edition* クラウドサービスは、この新しいプログラムで提供いたします。そのため、お客様が実際にご利用になることで生み出される価値が、そのまま当社が今後もサービスを提供していくうえでの励みになります」

クラウドサービスサブスクリプションは包括的なプログラムです。このプログラムでは、プロジェクト遂行分野の企業やオーナーオペレーターは、以下のサービスのサブスクリプションに契約できます。

- *ProjectWise CONNECT Edition as a service* (クラウド、オンプレミス、ハイブリッド)
- 新しい *CONNECT Edition* クラウドサービス (*Scenario Services* および *Catalog Services* を含む)
- [Bentley インスティテュート](#) のトレーニング、ならびにその他の実装および構成の要望に応じるプロフェッショナルサービス

- マネージドサービス(コンピューティングリソース、ソフトウェア、実装および運用サポートを含む)
- 設計モデリング、解析モデリング、建設モデリング、リアリティモデリング用の期間ライセンスアプリケーション

クラウドサービスサブスクリプションプログラムでは、*ProjectWise CONNECT Edition as a service* を提供し、[ProjectWise](#) のライセンス管理が大幅に簡略化されます。このプログラムでは、*ProjectWise* サーバーの使用料は発生しないため、ユーザー企業が使用の制限や追跡管理を行う必要はありません。*ProjectWise CONNECT Edition* の料金は四半期ごとの **Passport** および **Visa** の使用状況のみに基づきます。

*ProjectWise* サービスにアクセスするには [CONNECTIONS Passport](#) が必要です。より高度なサービスは、別途サービス固有の **Visa** で課金されます。マネージド(ホステッド)サービス、オンプレミスサーバー、またはハイブリッド環境での任意の組み合わせを選択できます。オンプレミスサーバーを選択すると、要件に最適な構成で必要な数を自由に導入し、追加のソフトウェア費用なしでパフォーマンスを最適化できます。

*ProjectWise CONNECT Edition (CE)* により、*ProjectWise* は「ファイアウォールの内側」のエンジニアリング・ワークシェアリングソリューションから、企業規模のプロジェクトデリバリ環境へと拡大します。*ProjectWise CE* はプロジェクトのエコシステム全体をカバーするので、広範なプロジェクトチームでもプロジェクトのライフサイクル全体を通して連携できます。

*ProjectWise CE* は、*Bentley CONNECTIONS Passport* およびサービス固有の **Visa** で利用でき、実際の使用状況に基づいて四半期ごとに清算されます。

- *CONNECTIONS Passport*– デスクトップアプリ、Web アプリ、モバイルアプリ ([Navigator](#) を含む) への認証済みアクセスが提供されます。
- *Project Collaboration Visa* – [ProjectWise Design Integration](#) および [ProjectWise Deliverables Management](#) 機能が追加されます。プロジェクトの

関係者は、オーナーやマネージャーを含むプロジェクトチーム全員と情報を共有し、効果的に連携できます。

- [Engineering Content Management Visa](#) – プロジェクトの枠を超えて組織全体のプロジェクトデリバリプロセス(文書管理、記録管理、タグデータ管理、フィールドデータ管理、設計コンフィギュレーション管理、プロジェクト標準)をサポートします。文書やデータの適切な管理や、設計に関する知識や基準の再利用、さらにベストプラクティスを全プロジェクトに拡大できるといった利点があります。
- [Enterprise Visa](#) – [ProjectWise Collaboration Visa](#) と [Engineering Content Management Visa](#) を組み合わせたプランです。

新しい *CONNECT Edition* クラウドサービスには、[Scenario Services](#) と *Catalog Services* が含まれています。*Scenario Services* を利用すると、Bentley の解析モデリングアプリケーションのユーザーは、クラウドベースの処理能力を活かして、代替案を解析し、シナリオレポートに基づいてトレードオフを検討、評価することができます。現時点でこれに対応する解析モデリングアプリケーションは、[STAAD](#) と [SACS](#) ですが、今後さらに増える予定です。*Catalog Services* を利用すると、プロジェクトチームはコンテンツへのアクセスを効率的に管理し提供できます。ユーザーは、*Catalog Services* を使用することで、Bentley やメーカー、規格団体などのコンテンツや仕様、機能コンポーネントを組み合わせて、企業固有、オーナー固有、およびプロジェクト固有のカタログを作成できます。

*ProjectWise CONNECT Edition* と他の *CONNECT Edition* クラウドサービスへのアクセスを提供するにあたり、Bentley クラウドサービスサブスクリプションは「指定ユーザー」の概念を取り扱いました。企業は個々のユーザーの使用状況を年単位で予測するという途方もないタスクから解放され、やむを得ない誤差や状況の急変によって、活用されないソフトウェアや無駄な料金が発生する事態を避けることができます。

Bentley の COO であり、多くの販売戦略を成功に導いた Malcolm Walter は次のように述べています。「実はとてもシンプルなのです。当社は、SELECT プログラムからス

スタートしたサブスクリプションプログラムで 20 年の経験を積んできました。その中で学んだのが、1 つは、お客様は年間予算を立てやすいプログラムを望んでいるということ。そしてもう 1 つは、おそらくこれが最も重要なことなのですが、お客様は実際に使用したソフトウェアやサービスにだけ支払いをしたいのだということです。当社の新しい *Bentley* クラウドサービスサブスクリプションプログラムは、どちらの要望にも応えられるので、お客様にはコラボレーションアプリとクラウドサービスを存分に活用していただけます」

#### 詳細情報:

- [\*Bentley\* クラウドサービスサブスクリプション](#)
- [\*Be Inspired Awards\* プログラム](#)
- [\*Year in Infrastructure 2015\* カンファレンス](#)

#### **Bentley Systems** について

**Bentley Systems** は、建築家、エンジニア、地理空間のプロフェッショナル、建設業者、オーナーオペレーターにインフラストラクチャの設計、建設、運用を推進するための包括的なソフトウェアソリューションを提供する世界的リーダー企業です。**Bentley** のユーザーは、各分野にまたがり、インフラストラクチャのライフサイクル全体に対応するインフォメーションモビリティを活用し、パフォーマンスに優れたプロジェクトとアセットを実現できます。**Bentley** のソリューションには、インフラの設計・モデリングを行う *MicroStation* プラットフォーム、インフラプロジェクトチームの協業と作業共有のための *ProjectWise* プラットフォーム、インフラ資産運用のための *AssetWise* プラットフォームを包含し、すべてが広範なポートフォリオの互換性アプリケーションに対応し、世界規模のプロフェッショナルサービスで補われています。

**Bentley** は 1984 年に設立され、50 カ国以上に 3,000 人近くの従業員を擁し、年間売上高は 6 億ドルにのぼります。また、2008 年以来 10 億ドル以上を投資して研究、開発および企業買収を推進しています。

Bentley に関するその他の情報については、[www.bentley.com](http://www.bentley.com) と [Bentley のアニュアルレポート](#) をご覧ください。Bentley のニュースをいち早くご覧になるには、Bentley のプレスリリースおよびニュースアラートの [RSS フィード](#) をご購入ください。[The Year in Infrastructure 2015 カンファレンス](#) の Web サイトで、Bentley の一流のオピニオンリーダーシップイベントの見どころをご覧ください。カンファレンスは 2015 年 11 月 3 日～5 日に英国ロンドンで開催されます。毎年開催される *Be Inspired Awards* の革新的なインフラストラクチャプロジェクトのコレクションは、検索可能な Bentley の『[Infrastructure Yearbooks](#)』をご覧ください。インフラストラクチャ業界の関係者が出会い、情報交換し、学び合える専門家ネットワーキングサイトをご利用になるには、[Bentley Communities](#) にアクセスしてください。

『*Bentley Infrastructure 500*』はインフラストラクチャの累積投資額に基づいて公共部門と民間部門のインフラストラクチャトップオーナーのランキングを掲載した独自の世界的リストです。[こちら](#) からダウンロードできます。

###

Bentley、Bentley の "B" のロゴ、Be、MicroStation、SELECT、ELS、SACS、STAAD、Bentley Institute、ProjectWise は、Bentley Systems, Incorporated、またはその直接または間接の完全所有子会社のいずれかの登録商標、未登録商標、または商標です。その他すべてのブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標です。